競技規則及び方法　(2023 年度版)

１．大会特別規則

⑴ 競技場の規格については、塁間距離を２５ｍ、投手プレート・本塁間距離を１７ｍ、両翼７５ｍ・センター８５ｍとする。球場ルールにあわせて、外野仮設フェンスを設置する。

⑵ **試合は７回戦とし、試合時間は１時間４０分とする。(準々決勝以上は、時間制限なしで行う)**

・同点の場合は、特別延長戦（タイブレーク方式）を適用する。

・特別延長戦（タイブレーク方式）は、継続打者で、無死１・２塁として、走者は順次、前の打者とする。(勝敗が決しない場合は、これを繰り返す)

⑶ **試合時間の判定については、当該審判員に一任する。**

⑷ **コールドゲームは、５回終了時１５点差とする。(決勝戦を除く)**

⑸ 降雨等により試合継続が困難となった場合、５回終了以降は正式試合とする。

なお、５回以前に中止になった場合、５回を過ぎて同点の場合は特別継続試合とし、翌日の第１試合前に行う。(全試合適用)

⑹ 抗議権を有する者は、監督、主将、当該プレーヤーのうち１名とする。

⑺ 守備側のタイムの回数制限

① 監督またはコーチ等が１試合に投手の所へ行ける回数は**３回**までとする。

② 監督またはコーチが、同一イニングに同一投手のところへ２度目に行くか、行ったとみなされた場合（伝令を使うか、捕手または他の野手に指示を与えて直接投手のところへ行かせた場合）は、投手は自動的に交代しなければならない。

③ 捕手または内野手が、１試合に投手の所へ行ける回数は**３回**までとする。

野手（捕手も含む）が投手のところへ行った場合、そこへ監督またはコーチ等が行けば、双方１回として数える。逆の場合も同様とする。

投手交代の場合は、監督またはコーチのみ回数には含まない。

⑻ 攻撃側のタイムの回数制限

① 攻撃側のタイムは、１試合に**３回**までとする。

※なお、⑺･⑻とも延長戦（特別延長戦を含む）となった場合は、1 イニングに 1 回行くことができる。

⑼ **投手の１２秒及び２０秒ルールを準々決勝以上は、採用する。**

(12 秒及び 20 秒ルールの取り扱い基準：参照)

⑽ 監督またはコーチは、コーチスボックスに出ることは禁止する。

⑾ 塁上の走者、あるいはコーチスボックスやベンチから守備側(捕手)のサインを盗み、それを打者に伝達することを禁止する。

⑿ 試合中の言動等は充分注意すること。

また、大学生らしく品位を重んじ爽やかなプレーを旨とする。なお、応援などにおいても同様とする。

⒀ 本規則に定められていない事項が生じた場合は、審判員協議の上、大会審判長の権限により処理する。

２．危険防止のため次の用具を使用する。

⑴ 打者用ヘルメットは必ず用意し、打者・次打者・走者・ベースコーチは必ず着用する。

⑵ 捕手は捕手用ヘルメットを着用する。捕手用ヘルメットはマスクを分離したものが望ましい。
また、プロテクター・レガースは必ず着用する。

⑶ 上記の各用具及びバットは、（公財）全日本軟式野球連盟公認の物を使用する。

⑷ 素振り用の鉄棒（鉄パイプを含む）・バットリング・長尺バットは使用してはならない。

⑸ スパイクは、金属製金具のついたスパイクを使用することはできない。
※スパイクの色は自由とし、全員同色でなくても構わない。

⑹ 全選手は、できるだけ帽子を着用する。

３．競技運営に関し、次のことを規定する。

⑴ 試合中のダッグアウト（ベンチ）の中に入れる人員は次の通り、「参加申込書」に記載された部長・監督・コーチ２名・マネージャーと選手 10 名以上 25 名以内の計 30 名以内とする。

⑵ 背番号は、監督 30 番、コーチ 29 番、28 番、主将を 10 番とし、選手は 0 番から 99 番とする。

⑶ **合同チームで出場する場合、背番号の重複を避け、元のチームのユニフォームでの大会参加を認める。**

⑷ 監督・コーチが選手として出場する場合は、**「参加申込書」の選手欄にも必ず記載する。**

⑸ 短期大学チームは、短大卒業後２年間は選手資格があるものとする。

⑹ ダッグアウトの中で電子機器類（携帯電話、パソコン等）を使用することは禁止する。
電子スコア記録用として１台認める。指示用メガホンは、ベンチ内に限り１個の使用を認める。

⑺ ダッグアウトは、組合せ表の左側の方を１塁側とする。

⑻ 試合前のシートノックは５分間とする。ノッカーも必ずユニフォームを着用すること。
但し、シートノックなしで試合を開始することもある。また、シートノック中のベンチ前等でのノックは禁止とする。

⑼ 球場内でのフリーバッティング練習は認めない。
グラウンド内での練習は、ランニング・キャッチボール・トスバッテング程度に限る。

⑽ **第１試合のチームは、開始予定時刻３０分前、第２試合以降は、前の試合開始１時間後、または４回終了時に審判室前で、メンバー表４部（ふりがなを付ける）登録メンバーの確認を受ける。**
その際、主将によって攻守の決定を行う。
メンバー表の用紙は、大会本部で用意した用紙を使用する。（審判室まで取りに来る）

⑾ 投手は、いずれの手、指または手首に何もつけてはならない。なお、負傷等でテーピング等を使用したい場合は、審判員の承認が必要である。

⑿ 試合開始予定時刻前でも、前の試合が早く終了した場合、次の試合開始を早める場合がある。

⒀ ボールガール及びグランドキーパーは、決められた学生委員が担当する。

⒁ 試合開始時刻になっても会場に来ないチームは、原則として棄権とみなす。

⒂ 雨天の場合でも、日程の都合上 球場が使用可能な状態の場合は、基本的に試合を行う。